



やまがた ゆきみらい通信

～雪と生きる 雪を活かす～

第3号

発行所 やまがたゆきみらい推進機構
〒995-0024 村山市楯岡笛田 4-5-1
TEL:0237-47-8691 Fax :0237-55-5236
Eメール kitamurasomu@pref.yamagata.jp

雪害関連事故多発中

編集作業大詰めの 安全な雪下ろしDVD

今年の冬も雪害関連の事故が依然として多く発生している。死傷者は合わせて六十八名であるが、死亡、負傷者ともに半数以上が屋根から転落したものが原因だ。しかも、ヘルメットや命綱の装着をしていなかった例がほとんどだという。

一昨年の豪雪による雪下ろし中の事故多発を教訓に、村山総合支庁雪プロジェクト担当では「安全な雪下ろし作業」の映像制作を進めている。



1月21日の撮影風景

尾花沢市宮沢地区の方々から協力をいただき、昨年夏から打ち合わせを行ってきたが、ま

雪下ろし・落雪事故等の発生状況

| 原因 | 死亡 | 重傷 | 軽傷 | 死傷者計 |
|-------|----|----|----|------|
| 転落 | 3 | 24 | 14 | 41 |
| 落雪 | 2 | 4 | 4 | 10 |
| 除雪時転倒 | | 1 | 3 | 4 |
| 除雪機 | | 6 | 3 | 9 |
| その他 | 1 | 1 | 2 | 4 |
| 計 | 6 | 36 | 26 | 68 |

危機管理室総合防災課調べ（平成20年2月21日現在）

まった雪が降った後、二度に渡り撮影が敢行された。映像の中では、一般には分かりづらい命綱・安全帯の使い方や、作業に適した服装、注意すべき点など、雪下ろしを初めて行う人でも理解できることを念頭に作成されている。

現在、編集作業が大詰めを迎えており、三月十七日に開催されるやまがたゆきみらいシンポジウムの中で一般公開される予定となっている。

雪と生きる消融雪

体験バスツアー開催

二月五日に消融雪体験バスツアーが、山形市（大石田町、尾花沢市、村山市を巡るコースで行われ、一般参加者と行政関係者など四十三名が、各融雪機器装置や流雪溝などを見学した。

一般県民の方に、さまざまな雪処理方法や雪処理の協働の仕組みを知ってもらうために開催。山形市では屋根融雪などの展示施設を、大石田町、尾花沢市、村山市では各種消融雪機器を見学。特に大石田町では実際



山形市漆山融雪展示場視察状況

に流雪溝への投雪を体験し、その処理の速さに参加者からは驚きの声が上がっていた。

第2回やまがたゆきみらいシンポジウムの開催案内

開催案内

開催期日

平成二十年三月十七日（月）
午後一時から

午後四時三十分まで

開催場所

村山総合支庁北庁舎 講堂

開催内容

◆基調講演

「雪国における太陽光発電システムについて」
山形大学工学部

副工学部長 東山 禎夫氏

◆事例発表

「安全な雪下ろしのDVD製作について」
・「村山市袖崎地区における官民協働除排雪について」ほか

でも参加できます。お気軽にご参加ください。